

(塾名) とよあけ どよう塾

(運営主体) 教育委員会学校教育課

(取組の概要)

- 1 背景・ねらい
- 2 対象校・対象者
- 3 実施教科
- 4 実施場所
- 5 実施の形態
- 6 実施日・回数
実施時間帯
- 7 登録人数
- 8 参加人数(平均)
- 9 コーディネーター
等の取組の様子

学習する意欲はあるものの塾などへ通えていない生徒を対象として、基礎的な学力の向上を図るために補充学習を行う。

豊明市公立中学校に通う生徒（塾などに通っていない生徒に限る）

数学、英語

豊明市役所、市共生交流プラザ「カラット」

一斉授業の形式で数学・英語の授業を学年別に行う。ALTや複数の指導員、学生ボランティアを配置し、分からないことはすぐに質問できる環境をつくっている。

月2回土曜日の午後に実施 年間23回（計画）

【1年】午後1時～3時 【2・3年】午後3時～5時（冬季以外）

【1年】午後1時～2時30分 【2・3年】午後2時30分～4時（冬季11～1月）

67名（1年生：26名、2年生：27名、3年生：14名） ※R5.12現在

50名（約75%）

指導員が学生ボランティアとの連絡調整を図るだけでなく、生徒支援の方法についてアドバイスをするなど、ボランティアの指導力向上を図っている。また、ホームページに学習進捗を掲載し、欠席した生徒が家庭で学習できるようにしている。



(取組の結果・効果)

平成28年度から年間をとおして現在の形で実施している。

参加する生徒たちは、毎時間真剣に課題に取り組んでおり、個別に質問する姿も見られる。教員志望等の大学生ボランティアにとっても、実践力を高める場となっている。

令和4年度から開催場所を市役所から市共生交流プラザに移したことにより、より利用しやすい環境を整えた。